

1 別紙標準様式（第7条関係）

会 議 録（要録）

会 議 の 名 称	令和3年度 第1回 枚方市文化財保護審議会
開 催 日 時	令和3年8月4日（水） 17時00分から 18時25分まで
開 催 場 所	枚方市役所別館4階 第4委員会室
出 席 者	委員：川畑会長、菱田副会長、田委員、高田委員、藤岡委員、 松永委員、池田委員、土井委員
欠 席 者	委員：柏木委員
案 件 名	(1) 文化財を活用した取り組みについて (2) 特別史跡百済寺跡再整備事業について (3) 国登録有形文化財（建造物）の候補について (4) その他
提出された資料等の 名 称	次第 案件1 文化財を活用した取り組みについて 資料① 「文化財を活用した今後の取り組みについて」資料② <参考資料> 教育パック「地域文化の宝箱」チラシ HIRATAKARA展2021（案） 文化財クイズラリー台紙 案件2 特別史跡百済寺跡再整備事業 資料① 案件3 非公開
決 定 事 項	案件1から3について事務局から報告を受けた。
会議の公開、非公開の別 及び非公開の理由	案件1及び案件2は公開。案件3は枚方市情報公開条例第5 条第1号に規定する非公開情報が含まれる事項について審 議・調査を行うため、非公開。
会議録等の公表、非公表 の別及び非公表の理由	案件1及び案件2は公表。案件3は枚方市情報公開条例第5 条第1号に規定する非公開情報が含まれる事項について審 議・調査を行うため、非公表。
傍 聴 者 の 数	3人
所 管 部 署 ( 事 務 局 )	観光にぎわい部文化財課

審 議 内 容

川畑会長 皆さん、こんにちは。ただいまから、令和3年度第1回枚方市文化財保護審議会を開会いたします。委員の皆様には公私御多用のところ、御出席いただきありがとうございます。

事務局 では、事務局より委員の出席状況等の報告をお願いいたします。  
本日の委員出席状況は、委員9名のうち、出席委員8名です。枚方市文化財保護条例施行規則第16条第2項の規定に基づき、本審議会が成立していることを報告させていただきます。

川畑会長 次に、今年度の定期人事異動がございましたので事務局の出席者も紹介させていただきます。観光にぎわい部長の武田、以下、職員でございます。

川畑会長 定足数に達していること並びに事務局の変更について確認いたしました。議事に入る前に観光にぎわい部の武田部長から御挨拶をいただきます。

武田部長 (挨拶)

川畑会長 議事に入ります。はじめに会議資料の確認をお願いします。

事務局 次第

案件1 文化財を活用した取り組みについて 資料①

「文化財を活用した今後の取り組みについて」資料②

<参考資料>

教育パック「地域文化の宝箱」チラシ

HIRATAKARA展2021(案)

文化財クイズラリー台紙

案件2 特別史跡百済寺跡再整備事業 資料①

案件3 非公開

資料は以上でございます。

川畑会長 さて、本審議会は「枚方市審議会等の会議の公開等に関する規程」に基づき運営を行うため、会議の公開・非公開については、原則公開としていますが、枚方市情報公開条例第5条の規定による非公開情報が含まれるものは、非公開とすることができるとしてあります。

本審議会の公開・非公開について確認したいと思います。事務局案をお願いいたします。

事務局 はい。本審議会の公開・非公開については事前に会長に御確認をいただいておりますが、委員の皆様も御確認をお願いいたします。

案件3、国登録有形文化財(建造物)の登録については、枚方市情報公開条例第5条第1号の「個人に関する情報」に該当するため、非公開が適当であると考えます。

また、会議の非公開を決定した事項に係る会議の会議録は非公表

の取り扱いをすることが適当であると考えます。記載の内容の正確性を期すため、補助的に会議内容を録音させていただいておりますので、よろしくお願いいたします。

川畑会長 会議の公開・非公開及び会議録の公表・非公表について、いずれも事務局から説明を受けた内容の取り扱いをすることに御異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

川畑会長 本日の傍聴希望者はおられますか。

事務局 はい。3人おられます。

川畑会長 傍聴の定員につきましては、緊急事態措置を踏まえ、要領で定める傍聴の定員上限10人の2分の1となる5人以内としたいと思いますが、これに御異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

川畑会長 審議会で委員に配付する資料は傍聴人へ原則配付するとしておりますが、今回、案件3について会議は非公開となりましたので、傍聴人には案件3関係資料は配付しないものとして取り扱いたいと思いますが、御異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

川畑会長 では、傍聴希望者の入室を許可いたします。

(傍聴者3人入室)

#### 案件1 文化財を活用した取り組みについて

川畑会長 それでは、案件1「文化財を活用した取り組みについて」、事務局から説明をお願いいたします。

事務局 (事務局による説明)

川畑会長 事務局から説明を受けた内容について、御質問、御意見等ございませんでしょうか。

いろいろ盛りだくさんでありますので、1、2、3、4と順番に御意見をお出しただければと思います。いかがでしょうか。

池田委員 じゃ、ちょっとだけいいですか。

川畑会長 はい。

池田委員 天門美術館の池田です。この春に、「田能村直入とその子弟展」を実現できまして、資料をお配りしていますが、文化財課の御協力があった成功したという点があって、まず感謝申し上げたいと思います。この出品目録を見ていただきましたら、ナンバー1の『十六羅漢図』、それから2番目の『阿弥陀経』の書ですね。これは枚方市からお借りしたものでございまして、以前に街道筋の奥田家に伝わったものということで、特に『十六羅漢図』は大変すばらしい作品でして、しかも、奥田様の為書きまであるというものです。枚方にゆかりのあるということは、これではっきりと証明されておるのでありますから、今

後、またさらに調査を進めていただきまして、枚方ゆかりの画家としての直入というものを検証する活動を継続していただきたいなと思っております。

それで、この年表を見ていただきましたら、かなり詳しい情報が入っておりますが、これは実は、鍵屋資料館の先代の学芸員の菅原千華さんがお作りになったものでして、こういったしっかりとした年表をお作りになっておいででしたので、後に続く者が大変助かった、ということがありまして、これは菅原さんの功労であるということは、この機会にぜひお伝えしておきたいなと思います。

そんなことで、これをきっかけに、さる篤志家がぜひ「直入とその子弟展」に関する図録を作ってくださいという依頼の話があって、その出版費用は自分が出すからというふうな、昨今珍しい佳話もありまして、今現在、鋭意制作中でございます。次回のこの審議会では、その図録を皆様にお配りすることができるかと思っております。

川畑会長 事務局に質問なんですけれども、交野ヶ原歴史回廊に分類される百済寺跡の透過パネルを設置されたということなんですけど、私もまだ見に伺っていないんですが、これは何枚ぐらい設置されたんでしょう。

事務局 2か所です。案件1の資料②の3ページ目の中ほどに写真を掲載しております。

川畑会長 この2枚ですね。

事務局 会長、よろしければ、今回お祭りでありますとかその辺りの民俗調査を初めて実施しますので、各委員から何か御助言をいただけたらと思います。

川畑会長 9月号で祭礼の写真を募集されて、市民の方の情報を得るという手段になるかと思うんですけれども、高田委員、こちらの調査で何か御意見ございませんでしょうか。

高田委員 この祭礼の写真というのは、昔のということですか。今、行っていることも含めてですか。

事務局 現在から昔の記録も幅広く収集できたらいいかなということで、9月という時期を選んで呼びかけようと思っております。

高田委員 祭礼も大分変遷していますか。お祭りとか、無くなっているものがあったり、変わっていますか。

事務局 そういう全体像自体があまりつかめておりませんので。そもそも、何年頃にはこういうのがあって、今でも残っているのか。この地域にはまだ残っていると、まず調査を始める前段階の手がかりになればいいなという期待を込めて、市民に呼びかけようと考えています。

高田委員 民俗調査をさせていただくときは、まず地域を全部、この地域にはどんな神社があって、お祭りならどうやって、というのを悉皆的にやって、その中で特徴的なところを詳しくさせてもらうというのが、

我々がやっているような調査なんですね。ここ枚方も何地区もありますので、まず地域全部の全体像をつかむのが大事かなと思います。

全体をやろうと思うと何年かかかると思います。お祭りや年中行事もそうですけど、1年に1回しかないことなので、そこが民俗調査の大変なところなんです。実際、1か所調査させてもらっていたら、こっちに行けないということになるので、重点的に北地区からとか西地区からとか、年ごとに分けて我々はやらせてもらっています。

事務局

新型コロナウイルスの影響で、お祭りがどんどん中止になって、今までも担い手がだんだん少なくなってきておられて、この1年、2年やらなければ本当にやれるのかなみたいなこともあったりして、まずは一度広く広報等で思い出のお祭りみたいな心に残っていることを呼びかけてみようかというのが本調査の趣旨です。

高田委員

それはどこも言っておられて、2年無くなると、もうせんでえんちゃうかとなる所があって、特に芸能とかは覚えていかなあかんことを、もうせんでえんちゃうかという空気になるのが一番怖いとおっしゃっている所が多いですね。なので、地元の方は普通にやっこられたことがすごく意味があって、伝統的な行事やし、誇りを持ってもらえるような調査報告になるのが、本当は一番いいと思うんですけどね。こんなすごいことを自分たちはやってたんだ。じゃ、次の世代についていうふうになるかなと思うので、そこまでできたら一番いいんじゃないかなと思います。

松永委員

今の件、よろしいですか。逆に、コロナ禍っていうのを、積極的に捉えるべきかなと思っていまして、私の職場の適塾のほうでも、自分の先祖が適塾の門下生だったという方が結構問い合わせをしてきたりしてて、多分、コロナ禍で、自分の家のことに関心を持つ機会というのが増えてるような状況だと思うんです。だから、そういう意味で、このタイミングで祭礼の写真とか探してくださいというのは、時宜にかなった取り組みかなと思うので、そういう意識で取り組んでいただければと思います。

菱田副会長

よろしいでしょうか。専門外ではありますが、やはり、いろんなところで、このコロナが続く中で、民俗行事の危機というのはすごく言われていまして、一度なくなると、もう復元できないということもあって、本来なら可能な限り手分けして、例えば、映像で記録等を取りに行くとかですね。そういう積極的な対応もしていただければいいんじゃないかなと思います。枚方では大丈夫かなと実はちょっと思っただけなんですけれども、もっと人口減の所なんかでは、本当に今、危機的な形になって、皆さん、危機意識持っておられるっていう所を見てきているんですけども、こういう状況が何年続くか分からないんですが、しっかりと記録を取っていくことは、こういう所を契機として始めていかないといけないと思います。

川畑会長	ありがとうございます。
藤岡委員	本当に、様々な取り組みをされているなどお話を伺っていて感心した次第です。個人的に、鋳物にはとても関心があるんですけども、これは民博さんとの連携ですか。
事務局	はい。
藤岡委員	他市でもこういったことはされているんですか。枚方市独自ですか。
事務局	全国でいろいろ、その土地その土地の特性で、例えば震災のあった東北で、漁業をなりわいとしておられる集落のことを子どもたちに伝えるというのを。民族学博物館にこれを受け取りに行くときにその紹介もしていただいたりしたんですけども、あとの2か所がちょっとすみません、思い出せないんですが。
藤岡委員	鋳物というのは、今日的にも様々な工業製品が鋳物でできてますよね。そういった技術や知識を子どもたちが持つのは、すごく大事なことだと思いますし、そのきっかけになればいいなとか。すごく面白いものなので、どんどん広がればいいなというふうに思って、驚きを持って見ておりました。 それから、たけうちひろさんデザインによるものも、とても素敵で去年だったか、下敷きを作るプランが出ていたかと思うんですけども、下敷きはどうかと思っていたんですけども、これはとても素敵で、これだったら、本当に欲しいなという気がしました。ただ、さらに言うと、いろんな文化財がモチーフになってるんですけども、それが何かっていうのが、これだけでは分からないので、それを分かるような何か資料を、もう一つ付けて、スタンプラリーを達成した人だけではなくて、本当にできるだけたくさん子どもたちにこういうものを配って、さらに、それがどういう文化財であるかということをお伝えできれば、非常に意義があるんじゃないかなというふうなことを思いながら、伺っておりました。
事務局	ただいまの、藤岡委員からいただきました最後の御意見に関連いたします資料を追加で配らせていただきます。急遽、作成していて、できあがったばかりでして。子どもたちにクリアファイルを配るときには、この資料のクイズを中に入れて、興味を持ってもらおうと思っています。
藤岡委員	とてもいいですね。
事務局	子どもにわかるようにクイズを作るっていうのが、なかなか難しかったんです。
菱田副会長	一つ一つをスタンプにして、スタンプラリーのスタンプがこれだったら、なお、集め甲斐があるっていうか。
事務局	そうですね。
菱田副会長	それはちょっと本人さんの了承もあるし、大変かもしれませんが

ど。

事務局 スタンプを置く場所をどうしようとか、いろいろ考えて。

菱田副会長 まだまだ工夫ができそうな、すごい新しい取り組みじゃないかなと思います。

藤岡委員 本当にいい取り組みをたくさんしていただいているなと思いました。

事務局 ありがとうございます。これをアレンジして双六にしようかなと。

藤岡委員 本当に素敵ですね。

事務局 学校見学で田中家鋳物民俗資料館や鍵屋資料館に来る子どもたちには、ファイルと一緒にプレゼントして、また、クイズラリーもしてねということで、案内をしようと思っております。

川畑会長 委員の皆様の様々な意見を集積して、早い時期から枚方市の文化財保存活用地域計画、こちらを策定する際の骨組みを作っていただくということも大切になってきますので、そちらに生かしていただければと思います。

菱田副会長 この保存活用というのは、今、どことも地域計画を作って取り組みが進んできているんですね。この7月で全国47ぐらいの自治体が、いよいよ認定を受けておりますし、着々この流れが広がってきていますので、せっかくこれだけすばらしい取り組みをされているんですから、これはもうこのまま地域計画に盛り込んでいける内容だと思いますし、事務方は大変かもしれませんが、積極的に取り組んでいただけると、より長期的なスパンでしっかりとやっていけるというのは、メリットだと思いますし、また、他部局との連携というのいろいろな形で取りやすくなると思いますので、ぜひとも、ここは推進していただきたいなと思っております。

川畑会長 それでは、この件につきましては、この程度にさせていただきたいと思っております。

#### 案件2 特別史跡百済寺跡再整備事業について

川畑会長 それでは、続きまして、案件2「特別史跡百済寺跡再整備事業について」を事務局から説明をお願いいたします。

事務局 (事務局による説明)

川畑会長 ただいま事務局から説明を受けた内容について、委員の皆様から御質問、御意見等はございませんでしょうか。

菱田副会長 現実に塔を建てたり、金堂を復元したりは難しいわけですが、先ほど最後におっしゃった、VR、ARを使ったバーチャルな復元というのは、今、かなり安価にできるようになってきていると思いますので、ぜひとも取り組んでいただきたいなと思っております。

川畑会長 ほかにはございませんでしょうか。

それでは、この件につきましては、この程度とさせていただきたい

と思います。

それでは、続きまして、案件3「国登録有形文化財（建造物）の登録について」に移ります。

本件は非公開案件であるため、傍聴者の皆様は御退室をお願いいたします。

（傍聴者3人退室）

（案件3 非公開）

川畑会長        それでは、御議論いただいているところで、大変恐縮でございますが、この程度とさせていただきたいと思います。

本日は、委員の皆様から、様々な貴重な御意見をいただきました。今後、事務局におかれましては、本日の意見を十分に踏まえられた上で、事業を推進していただきたいと思います。

それでは、案件の4、その他としまして事務局から何かございますでしょうか。

事務局        本日の資料等につきまして、追加で御意見等いただける場合、また、御不明な点ございましたら、今週中8月6日午後までに、お電話、ファクス、メール等でお知らせいただければと思います。

また、本日の会議録につきましては、事務局で案を作成した後、皆様に御確認をいただきまして、会長と調整をさせていただき決定したものをホームページで公表していきたいと考えておりますので、どうぞよろしく願いいたします。以上でございます。

川畑会長        それでは、これもちまして、令和3年度第1回枚方市文化財保護審議会を終了します。委員の皆様お疲れさまでした。